

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 企画担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	魚釣り施設のあり方検討	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7906 環境担当
目的	対象(誰・何を)	名古屋港における恒久的な魚釣り施設			事業 期間	平成25~28年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	施設整備の可否を検討します。				
概要	名古屋港高潮防波堤の改良工事に伴い利用を停止した名古屋港海づり公園の暫定施設として新舞子マリンパーク魚釣り施設の供用を開始しましたが、利用者や所在市村等からの要望もあり、名古屋港内の魚釣り施設の整備可否の検討のため、既往資料や現地調査、有識者の助言を基に、環境面、安全面、整備・管理運営手法等を勘案し、名古屋港における魚釣り施設のあり方について検討します。				根拠 法令等	
26年度の実施予定	昨年度選定された調査地において、四季にわたる現地調査を行い、安全面や環境面も踏まえ、釣り施設としての立地の可能性を検討します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	有識者による委員会を開催し、魚介類の生息状況の現地調査結果及び水域条件、安全面、整備面からの判断を踏まえ、年間を通して釣果が期待できることから、魚釣り施設の実現性の高い箇所として、鍋田ふ頭東側及び北浜地区の2箇所を絞り込みました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		1,905	4,500	6,405	
人件費	千円		6,570	6,607	13,177	
合計	千円		8,475	11,107	19,582	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
検討の進捗状況(工 程)	目標		-	3	5(累計)		以下の検討項目のうち完了した工程数を合計 します。 【①利用可能な水際線②現地調査地の選定 ③施設適地④施設設置可否検討⑤整備時 期】	
	実績		2	3				
(進行管理型)	事業進捗状況(26年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
委員会の開催(回 数)	目標		-	3	3(累計)		魚釣り施設のあり方を検討する為に開催した 委員会の回数を合計します。	
	実績		2	3				
(進行管理型)	事業進捗状況(26年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	委員会を開催し、順調に検討を進めています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 名古屋港海づり公園の使用停止と所在市村からの要望を踏まえ、親しまれる港づくりを推進しています。						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 有識者の意見を踏まえ、段階的に取り組みを進めています。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 施設のあり方の検討は、将来施設の実現につながります。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 業務委託により、効率的な委員会運営および現地調査を実施しています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性			判断理由
	成果	コスト		
継続	維持	維持		・適地(2箇所)における実現の可能性について、整備手法や管理運営方法等を検討していく必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題				27年度以降の取組
施設整備の判断を行うため、具体的な施設規模の把握が必要です。				委員会の検討を踏まえ、絞り込まれた箇所を対象に、魚釣り施設の規模や整備・管理運営手法等、施設の実現の可能性を検討していきます。